

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	北療育医療センター 城南分園		公表日		令和7年 3月 25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	23	3	・狭い保育室があり物の配置等工夫している。 ・人数が少ない場合、小さい保育室を利用している。 ・基本フローリングだが、一部大きなマットを敷き、寝たままのお子さんなども安心して遊べる場所を作っている。	・多様化する利用児の状況に対応できるよう、部屋の使い方等にも工夫をする。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	22	4			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	22	4	・ハード面での制約はあるが、構造化に向けた工夫をしている。	・手順や物の置き方等、可能なところから引き続き構造化を進める。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	25	1	・保育内容だけでなく、装飾なども工夫しながら、季節や行事ごとなども感じられるようになっている。 ・狭めの部屋もあるが、SI室やベランダ・園庭などもあり、活動の場がある。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	22	4	・児に合わせて思い切り動いて発散できるスペースや安心して横になれる空間を確保できるようにしている。		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	21	5	・多職種参加型会議実施。 ・日々、担任同士、係内などで、まめに連絡、話し合い、振り返りなどを行っている。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	23	3	・保護者アンケートや保護者懇談会など個別や組織につなげられている。 ・都度、綿密に係内等で話し合い改善につなげている。 ・保護者の要望より職員の価値観が優先されることがある印象であったが、昨年から柔軟な対応がなされるようになったと評価している。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	24	2			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	25	1			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	25	1	・研修が充実していると同時に、研修に参加する際の協力体制も整っている。		
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	26	0	・年度初めに希望を確認し進めている。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	25	1		・令和6年度に5領域の視点を持った様式に変更したが、その視点を重視した活発な議論になるよう会議運営を工夫する。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	25	1	・多職種が連携して計画書を作成している。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	24	1 ※1件未回答	・児童発達支援管理責任者が集団活動に入る機会を設けている。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	22	3 ※1件未回答	・多職種で連携して確認している。		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	26	0	・本年度から取り入れられている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	26	0		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	26	0	・月のカリキュラムの組み合わせを配慮し、それぞれの展開の仕方など工夫し、同じ遊びでもさまざまな経験ができるようにしている。 ・課題のテーマは同じであっても、回数を重ねるごとに少しずつ工夫が足されている。 ・様々な素材や教材を使い、五感を使って遊べるように工夫したり、季節を感じられる遊びを取り入れている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	25	1	・静的動的なども含め、週の中、月の中での立案を工夫し、いろいろな経験ができるようにしている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	26	0	・児童発達管理責任者会議がある。 ・保育内容のほかにも必ず児の、近況や前回の様子など話し合っている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	20	6	・午後の時間で話したり、また、他の職員が書いた記録、日誌などにも目を通すなどしている。 ・保育担当者と個別訓練担当者間で、毎回振り返りは行われていないが、変化や問題がある場合には、行われている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	26	0		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	23	3		
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	25	1		
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	22	4		
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	24	2		
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	26	0	・特に医療的ケアが必要な子どもについては、就学先の職員に来園していただいて、入学前から情報共有する取り組みに協力している。	
	28 (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	20	6	・大田区「わかばの家」との連絡会を開催し、情報交換等を行っている。 ・区主催の会議等に参加し、区内の他の事業所と顔の見える関係作りを行っている。	・地域連携により「地域全体の質の向上」につながるよう更に検討する。
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	25	1		
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	15	※2件未回答		
	31 (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	17		・保育園との交流について再開に向け検討する。
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	26	0	・親子通園という特性上、保護者と子どもの状況について日々話している。	
34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	22	4	・利用者が参加しやすい時間帯を設定するなどし、勉強会を行っている。		
35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	26	0	・保育士、看護師、相談員が関わっている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	26	0	・説明と同意、面談を兼ねて行っている。 ・保護者の希望、児の目標をお聞きし、その点も組み込みながら計画をたてている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	26	0	・説明と同意、面談を兼ねて行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	25	1		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	23	3		・家族支援の一環としてのきょうだい支援について検討をする。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	26	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	22	4		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	26	0	・施錠したキャビネット内に保管	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	26	0	・保護者一人ではなく支援者に付き添ってもらう。 ・子どもだけでなく、保護者の特徴や特質もよく把握していると思う。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	15	11	・おもちゃ図書館などは、HPなどで地域に発信されていると思う。 ・コロナ禍で中止していたボランティア受け入れについて、要綱を見直したうえで再開した。	地域交流について、再開に向け検討する。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	24	2	・防災訓練は毎月実施、緊急救命対応訓練は年1回実施、災害BCPや感染症に関する情報提供などを実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	26	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	26	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	26	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	26	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	25	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	25	1		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	25	0 ※1件未回答		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	25	1			